

# 物流コスト改革推進調査事業

【物流コスト改革推進調査事業 12(13)百万円】

## 対策のポイント

青果物の物流コストの縮減を目指し、トラック輸送から鉄道輸送等への転換（モーダルシフト）を推進するため、課題の抽出・整理や実証試験を行う取組みを支援します。

（青果物輸送の現状）

- ・ 現在、青果物の輸送は、輸送時間調整の柔軟性や積み替えなしの一貫輸送による利便性等から、9割以上がトラック便によるものとなっています。

（課題）

- ・ 青果物の輸送では、距離が700kmを超える場合、鉄道運賃がトラック運賃を下回ることからモーダルシフトが有効とされるものの、鉄道輸送等にはロットの確保や鉄道ダイヤへの対応、輸送中の品質確保などの課題があります。
- ・ このため、これらの課題の抽出・整理を行うとともに実証試験を行い、青果物のモーダルシフト推進に向けた取組方向、効果等を検討する必要があります。

## 政策目標

青果物のモーダルシフトにおける課題の抽出・整理を行うとともに、定量的なコスト縮減についても十分に調査・検討していく

< 内容 >

- （1）モーダルシフトやクールコンテナの効率的利用に向けた課題の整理・検討を図るため、検討会を開催します。
- （2）産地サイド・消費地サイドの関係者が、効率的な食品物流について、協議会を開催します。
- （3）モーダルシフトやクールコンテナの効率的利用を図るための課題の解決に向けた、試験調査を行います。

【定 額】

< 事業実施主体 >

民間団体

< 事業実施期間 >

平成18年度～平成19年度

[ 担当課：総合食料局流通課（03-3502-8236（直）） ]